



コミュニティ・スクール

学校・家庭・地域が
力をあわせて子どもたち
の成長を支える仕組み

中野区では、全ての区立学校・幼稚園で、**コミュニティ・スクール**に取り組んでいます。
コミュニティ・スクールでは、各学校の学校運営協議会で学校と地域が学校運営や子どもたちの学びについて話し合うとともに、**地域コーディネーター**を中心に、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」を進めています。
この通信では、各学校・園で行われているコミュニティ・スクールの取組を紹介します。

塔山小学校・ひがしなかの幼稚園

～地域と支える体験学習「ぎょしょく」～



塔山小学校では3月に2年生の学習「ぎょしょく」が行われました。これは、魚を見たり触れたりしながら、その気付きや発見を学びにつなげる体験学習です。当日は、ひがしなかの幼稚園の園児も参加し、小学校と幼稚園の連携教育にもなりました。

この活動を支えたのは、地域や保護者、保護者OBなどのボランティアの皆さんです。地域コーディネーターが協力を呼びかけ、多くの方が準備や子どもたちの見守りに携わりました。学校と地域の連携によって、子どもたちの学びの幅が広がり、地域全体で成長を支える環境づくりにつながっています。

桃園第二小学校

～学校運営協議会の協議から生まれた「九九チャレンジタイム」～

学校運営協議会での「九九の定着を促す取組ができないか」との委員の声をきっかけに、子どもたちの学習を支援する取組について話し合いました。

その結果、地域コーディネーターを中心に、2年生を対象とした「九九チャレンジタイム」を企画。休み時間を利用して実施し、地域や保護者の学習ボランティアが参加しました。自作のチャレンジカードを使いながら、子どもたちの九九の暗唱を見守り、励ます活動となりました。

学校運営協議会での熟議が、地域と学校が協働する具体的な取組として、子どもたちの学びにつながりました。



今後も本通信では、各学校・幼稚園のコミュニティ・スクールの取組を紹介していきます